

令和7年度 久慈翔北高等学校教職員 働き方改革アクションプラン

久慈翔北高校では、「岩手県教職員働き方改革プラン(2024～2026)」に基づき、以下の取組により、「学校における働き方改革」を推進します。

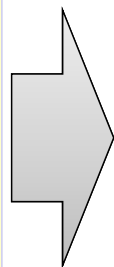
1 現 状

【定量的現状】

- ◆ 「岩手県教職員働き方改革プラン(2024～2026)」目標達成状況
時間外在校等時間が月80時間以上の者
・R4年度:29人、R5年度:18人、R6年度:9人
- ◆ 年次休暇の取得状況について(年間一人当たりの平均取得日数)
・R4年度:10.0日、R5年度:28.0日、R6年度:22.0日

【定性的現状】

- 教職員の意識
・本校で推進する定時退庁の取組が全教職員に徹底されている。
・時間外勤務している教職員が固定している。
- 管理職のマネジメント
・スクラップアンドビルドの視点を持って業務見直し等の対応を行っている。



2 目標・目指す姿

県の働き方改革プランの目標を前提に、以下の目標を設定します。

【学校独自の目標】

- 教職員一人当たりの平均時間外在校等時間を32時間とすることを目指します。
- 年次休暇の平均取得日数を20日にします。

【目指す姿】

- ・ 生徒たちへの質の高い教育を持続的に提供し得る観点から働き方の見直しが図られている。
- ・ 教職員一人ひとりが自己有用感を感じながら、互いに支え合い、チームで業務に取り組んでいる。
- ・ 教職員は、ワークライフバランスを実現できている。

3 (2を達成していくための) 具体的取組内容

(1)	教職員の健康管理	<ul style="list-style-type: none">・ 管理職が、休暇の取得や勤務の振替について積極的に呼びかけを行います。・ 月の時間外在校等時間が月途中で40時間超となった教職員に声掛けし、健康確保の観点から時間外在校時間の削減を促します。
(2)	学校における業務改善の推進	<ul style="list-style-type: none">・ 前例にとらわれず、教育において真に必要な観点から業務の見直しを進めます。・ 保護者への諸連絡は紙での配付を廃止し、ホームページや一斉メール配信での周知を行います。
(3)	業務の明確化・適正化の推進	<ul style="list-style-type: none">・ 働き方改革の取組について、保護者や地域の方に理解いただけるよう公表をします。・ 休日の部活動は、保護者や外部コーチの協力をいただきながら顧問の負担を軽減します。
令和7年度 重点取組事項		<ul style="list-style-type: none">・ 令和6年度から継続して「働き方改革チェックシート」を活用し、教職員一人ひとりの業務改善に努めます。

4 アクションプランの周知方法

- ・ プランを学校のホームページに掲載し、会議等を通じて教職員にも周知します。
- ・ 各種会議を通じて、地域・保護者にプランの内容の説明を行います。